

回答  
ANSWER

質問  
QUESTION



おおひら ふみ お  
大平 文雄

# 「わがまち」の自治体経営は、「安八スマートIC」を起爆剤に政治生命を賭け、積極的なセールス活動に取り組みます

〔町長〕

**質問** 「安八町第五次総合計画」によると、平成34年度の人口目標は、現状と横ばいである1万5200人を想定されています。しかしながら、生産年齢（15歳〜64歳）は、平成22年の63・2%から平成34年には59・2%と、大幅な減少を余儀なくされる見通しです。また、町内の製

造品の出荷額も、平成15年の1309億円から平成24年には683億円と、大きく減額となっています。さらに、製造業従業員数も、平成15年の4252人から平成24年には2272人と、驚くほどの減少となっています。

このような傾向は、地域経済を衰退させます。

安八スマートICの供用開始は、人口対策における起爆剤とすべきです。その狙いは、究極的には税収の増加にあり、製造業を中心とした、特に大手企業の誘致↓法人に係る税収の増加↓労働者人口を呼び込み個人に係る税収増加です。

すなわち「スマートIC」を起爆剤として打ち出すことは、少子高齢化対策の唯一無二の施策として考えていま

す。この機会には政治生命を賭す覚悟が必要と思われれます。町長の意欲ある考えをお尋ねします。

**回答** 永年の悲願であったスマートICですが、日に日に体をなしています。いかにして当町のまちづくりを進めていくか、発展につなげていくか、これからが行政としての真価が問われることとなります。

現在、庁内でスマートICを活用した土地利用や安八温泉など既存資源の有効活用について、構想を取りまとめています。

平成32年度が都市計画の見直しの時期となっており、早急に構想を取りまとめ、具現化に向け進めていきます。

戻っており、行政を預かるものとして政治生命を賭け、率先し積極的なセールス活動に取り組みでいきます。

**再質問** ①安八スマートICの連結許可は平成25年6月11日でしたが、それから4年間、町として「産業振興策のためのプロジェクトチーム」を結成されていましたが。

②近隣フルインター、スマートインター周辺の視察をして、インター周辺の工場誘致の情報収集されてきましたか。

③安八スマートIC周辺の工場等誘致のため、の青写真はできあがっていますか。

**回答** ①建設に向け、用地交渉を最優先に進めてきました。プロジェクトチームは結成していませんが、並行して検討を進めてきています。

②先進地を見に行く機会は、今までありませんでした。今後は、足を運んで参考にさせていただきます。

③今後は平成32年の土地利用の見直しに向け、地元と協議しながら本格的に進めていきます。



産業振興が期待できる安八スマートIC周辺